

和泉市いずみの国歴史館平成21年度冬季企画展
桃山学院創立125周年・大学開学50周年記念

2010年1月6日(水)~3月7日(日)

休館日：月曜日（祝日は開館）・祝日の翌日
時間：午前10時~午後5時（入館は4時30分まで）
入館料：無料
共催：和泉市、和泉市教育委員会、桃山学院大学

福島中佐

桃山学院創立125周年・大学開学50周年
記念シンポジウム

福島安正の見た「坂の上の雲」
とその時代

1月15日(金) 11時~12時30分

パネラー 原山 煌氏(桃山学院大学教授)
青野 正明氏(桃山学院大学教授)
佐賀 朝氏(桃山学院大学准教授)
旭堂 南海氏(講談師)

講談実演 旭堂 南海氏「乃木將軍の墓参り」

桃山学院大学カンタベリーホールにて
聴講無料。定員400名(申込み不要、当日先着順)

記念講演会

2月13日(土) 1時30分~3時30分

原山 煌氏(桃山学院大学教授)
「刷り物が伝えた日清・日露戦争と東アジア」

歴史館(まなびのプラザ会議室)にて
聴講無料。定員80名(申込み不要、当日先着順)

描かれた戦争、創られるイメージ

—刷り物で見る日清・日露戦争と東アジア—

※4点はいずれも個人蔵

歴史講座

2月28日(日) 1時30分~3時30分

森下 徹(和泉市教育委員会)
「銃後の現実 一日清・日露戦争と和泉」

歴史館(まなびのプラザ会議室)にて
聴講無料。定員80名(申込み不要、当日先着順)

近世・近代古文書講座(全4回)

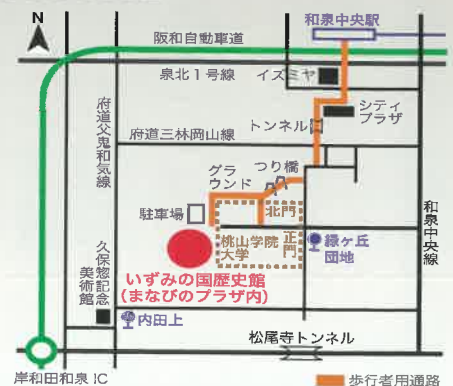
1月23日・2月6日・2月20日・3月6日(土)

時間：午後1時30分~3時30分
講師：森下 徹・羽田真也(和泉市教育委員会)
参加費：無料 定員：50名
申込：1月6日(水)からいずみの国歴史館で電話受付

和泉市いずみの国歴史館

T594-1152 和泉市まなび野2番4
TEL/FAX 0725-53-0802

〈交通〉泉北高速鉄道 和泉中央駅より徒歩20分/
和泉中央駅から南海バス「松尾寺」「美術館前」
行きで「緑ヶ丘団地」下車、徒歩5分/南海本線 泉
大津駅より南海バス「春木川」「若裡」行きで「内
田上」下車、徒歩7分
(駐車場台数に限りがありますので、なるべく公
共交通機関をご利用ください)



市民展示コーナーで「中国年画展Ⅱ」を同時開催

描かれた戦争、創られるイメージ

一刷り物で見る日清・日露戦争と東アジア



*大津川大砲試験場跡で見つかった砲弾
長さ18.5cm
(泉大津市立織編館蔵)

「坂の上の雲」の時代。日本は、日清戦争・義和団事変・日露戦争という3つの「戦争」を通じて、帝国列強の仲間入りをし、アジアへ勢力を拡大していきました。これら戦争の様子は、新聞や雑誌、大衆芸能などを通じて国民に伝えられましたが、なかでも大きな影響を与えたのが、美しいカラー刷りで戦争を報じた木版画（錦絵）や石版画などの刷り物でした。

本企画展では、情報将校福島安正の活動に着目しつつ、3つの戦争がどのように描かれ、語られ、伝えられたのか、また、それによって当時の民衆の中国・朝鮮やロシアに対するイメージがどのように変化したのか、木版画、石版画、書籍その他の関連品など多種多様な刷り物から浮かび上がらせます。はじめて公開される石版画やふだんあまり目にする事のない豆本など、地元大阪で出版された貴重な刷り物を多数展示します。

あわせて、戦争が地域社会や庶民生活にどのような影響をあたえたのか、銃後の現実の一端を、地元に残る日清・日露戦争関係資料から照射します。

100年前の戦争のイメージと現実、当時のアジア認識の実態などを今日の観点からふりかえる機会となれば幸いです。

《主な展示品》



*豊島沖海軍大戦争之図（個人蔵）



*引札〈征露大捷雙六〉（個人蔵）



*日清戦争、義和団事変を描いた絵皿（個人蔵）



*大阪で出版された軍歌豆本や講談本など（個人蔵）



*日清戦争戦利品〈清国士官服〉（松尾寺蔵）